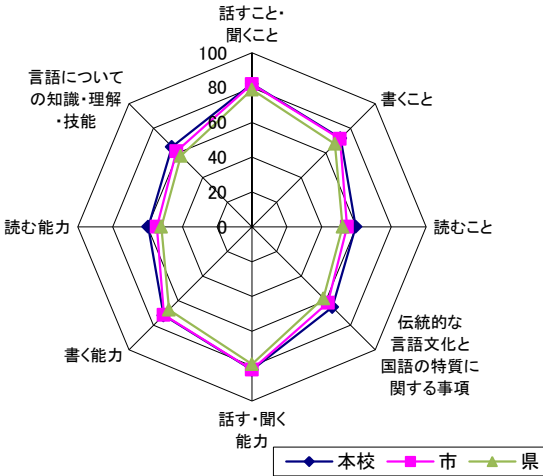


宇都宮市立石井小学校第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	82.2	82.0	78.9
	書くこと	71.9	71.5	67.4
	読むこと	59.6	54.6	52.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.3	61.7	58.1
観点	話す・聞く能力	82.2	82.0	78.9
	書く能力	71.9	71.5	67.4
	読む能力	59.6	54.6	52.1
	言語についての知識・理解・技能	65.0	61.3	57.7



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し合いの内容を正しく聞き取ることがよくできている。 ○話の中心に気をつけて聞くこともよくできている。 ●司会の話し合いの進め方の工夫についての理解は、正答率が県の平均を上回っているものの、理解がまだ十分でない児童がいる。	・話し合いのポイントを明確にするために、司会が出された意見をまとめて確認するなどの工夫が必要であることを、学級活動などの実際の話し合い活動の場を通して指導していく。
書くこと	○自分の意見を明確に書くことがよくできている。 ○自分の意見を支える理由を適切な表現を用いて書くこともよくできている。 ●自分の意見を決められた段落構成で適切に書くことに課題がある。	・自分の意見を決められた段落構成で書くことについては、自分の意見とその理由を2つの段落に分けて書くことのよさを理解させ、様々な機会を利用して意図的に書くようにさせる。
読むこと	○物語の場面の移り変わりを叙述を基にして読みとること等がよくできている。 ○与えられた情報から話し合いの展開を理解することもよくできている。 ●説明文の段落相互の関係を正しく読み取ることについては、正答率は県の平均をわずかに上回っているものの、理解がまだ十分でない児童がいる。	・説明文の段落相互の関係を明確にするために、まず形式段落ごとの要点をまとめ、その段落の関係をまとめながら文章構成図などに表す練習をするようにする。その際、あらかじめ文章構成図の枠を与え、そこに段落番号を記入するなど個に応じた助言を行う。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○正しい漢字の使い方をよく理解している。 ○漢字辞典の正しい使い方を理解している児童が多い。 ●文の中で、主語と述語と修飾語を分類することの理解がまだ不十分である。	・文の中で、修飾語を見つけるためには、まず主語と述語を正しくつける練習をし、それ以外の残された語(修飾語)についてそのはたらきを確認するようにするなど、個に応じた助言を行う。